

# 新年のご挨拶



病院長 新家 眞

新年あけましておめでとう御座います。皆様の平成31年のご健勝を心よりお祈り致します。

去年の冬(2017年12月～2018年2月)は比較的寒かったのですが、平成30年の夏は記録的な暑さだったので、今年の冬はその流れで暖冬の予想のようですが、12月の声をきくと同時にインフルエンザの流行が始まったようで油断できません。

さて、2019年は平成最後の31年で、亥(イノシシ)です。日本では伝統的に西暦のみならず、所謂天皇の即位毎に決まる年号と、更に古代中国商の時代(紀元前1500年位前)からの十干十二支で年を数えています。2019年は平成31年で己亥(つちのとい)となりますが、十干の方はややこしいので、日常では十二支の方のみで済ましてしまっているようです。

さて、十二支は十二年毎に回るので、西暦0012年にあたる十二支の年は、西暦年が常に12で割り切れる年となります。その都合のよい十二支は残念ながら亥年ではなく申年です。但し、亥年も政治的には常に重要な年になるべく運命づけられているそうです。御存知のように日本では衆議院議員の任期は4年、参議院議員の任期は6年ですが、参議院議員は3年毎に半数が改選となります。そして4と3の最小公倍数は12なので、12年毎に衆参同時選挙が行われることとなります。すなわち亥年は常に衆参同時選挙が行われる十二支の年なのです(皆さん投票に行きましょう)。

さて平成31年、亥年は当公立学校共済組合関東中央病院的には衆参同時選挙が各政党にとって大変重要な事案であるのと同様に、重要な組織改編を行います。今までは個々の患者さん個々の診療科毎に行っていた入院・退院に関する一切の業務を取りまとめて行うべく、「入退院支援センター」を外来スペースの一部を割いて独立した組織として、平成31年4月をもって立ち上げる事になり、年初からその工事を始める予定です。工事中は患者様のみならず職員にもいろいろ不便をおかけすると思いますが、Patient Flow Management(PFM)事業の巧拙は病院機能の根幹にあるとまで言われる今日この頃、よりよきPFMは受診者側、医療職側共に利する事、多大な物がありますので、しばしの間御辛抱を戴ければと思います。

さて終わりに、亥年である平成31年について少し考えてみたいと思います。己は草木が十分に生い茂って整然としている状態を表す漢字だそうで、亥は草木が枯れて、種の内部に草木の生命力がこもっている状態を表す漢字だそうです(漢字は便利ですね)。即ち己亥とは己(完成した植物が足元をかためての準備をする)亥(枯れた後、種に生命を引きついで春の芽吹きまでじっとエネルギーを核にためている(亥に木をつけると核)状態)を言います。当院も是非、今までの蓄積が春に芽吹くように地域支援病院としての活動を更に伸ばして行くべく、職員一同努めていきたいと思っています。平成最後の年31年が皆様にとっても素晴らしい1年でありますようにお祈り致します。本年もどうぞよろしくお願い致します。

